

第2版

画像認識ユニット

NVP-Ax230SDK
SVP-Ax330SDK

Software Development Kit

Fine Vision Processor

VPVisor2 操作マニュアル

maxell

マクセルシステムテック株式会社

はじめに

このたびは、VP-Axシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本マニュアルはVP-Axシリーズ用ツール VPVisor2 について記載しております。



ご注意

- システムの構築やプログラム作成などの操作を行う前に、本マニュアルの記載内容をよく読み、書かれている指示や注意を十分理解してください。誤った操作によりシステムの故障が発生することがあります。
- 本マニュアルの記載内容について理解できない内容、疑問点または不明点がございましたら、弊社営業窓口までお知らせください。また、弊社ホームページのお問い合わせのページからも受け付けていますのでご利用ください。
<http://www.systemtech.maxell.co.jp/solution/vp/>
- お客様の誤った操作に起因する、事故発生や損害につきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 弊社提供のハードウェアおよびソフトウェアを無断で改造しないでください。この場合の品質および安全につきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本マニュアルの内容について予告なく変更する場合があります。

※ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※ その他記載の社名および商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

ご注意書き

1. 本ソフトウェアおよび本資料に記載されるこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因して、お客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 本ソフトウェアおよび本資料に記載される情報は、正確を期するため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本ソフトウェアおよび本資料に記載される情報の誤りに起因する損害が生じた場合においても、当社は一切その責任を負いません。
3. 本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他知的財産権に対する侵害に関し、当社は、何らの責任を負うものではありません。当社は本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 本ハードウェアおよび本ソフトウェアを改造、改変、複製等しないでください。かかる改造、改変、複製により生じた損害に関し、当社は一切その責任を負いません。
5. 本ハードウェアおよび本ソフトウェアは、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物質的損害を発生させるおそれのある機器・システム（原子力制御システム・軍事機器等）、もしくは高品質水準が求められる機器・システム（自動車・電車・船舶等の輸送機器、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置等）に使用されることを意図しておらず、使用することはできません。たとえ、意図しない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。なお、ご不明点がある場合は、当社営業にお問い合わせください。
6. 本ハードウェアおよび本ソフトウェアをご使用の際は、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、その他の保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、本ハードウェアおよび本ソフトウェアの品質向上に努めておりますが、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。本ハードウェアおよび本ソフトウェアのご使用にあたっては、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証、および安全検証を行ってください。
8. 本資料に記載されている当社のハードウェア製品、ソフトウェア製品および技術を国内外の法令および規制により、製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。また、本ハードウェア、本ソフトウェアおよび技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途に使用しないでください。本ハードウェア、本ソフトウェアおよび技術を輸出する場合は「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続きを行ってください。
9. お客様の転売等により、本ご注意書き記載の諸条件に抵触して当社製品が使用され、その使用から損害が生じた場合、当社は何らの責任も負わず、お客様にてご負担頂きますのでご了承ください。
10. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。

目次

1.	概要.....	1
1.1	機能.....	1
2.	操作方法.....	2
2.1	SDK の選択と tool 設定.....	2
2.2	VPVisor2 の起動.....	2
2.3	メインウィンドウ.....	3
2.4	メニュー.....	4
2.5	ツールバー.....	5
2.6	ファイル管理.....	6
2.6.1	ファイル・ディレクトリ操作.....	6
2.6.2	拡張子フィルタ設定.....	6
2.6.3	簡易テキストエディタ.....	6
2.7	startup.bat 設定.....	7
2.8	boot.ini 設定.....	8
2.9	オンボードドライブ操作.....	8
2.10	その他.....	8
2.10.1	ボードリセット.....	8
2.10.2	バージョン情報.....	9
付録 A	変更履歴.....	10

図・表 目次

図 2-1	[起動中]ダイアログ	2
図 2-2	[VPVisor2] ウィンドウ	3
図 2-3	[拡張子フィルタ設定]ダイアログ	6
図 2-4	[startup.bat 設定]ダイアログ	7
図 2-5	[boot.ini 設定]ダイアログ	8
図 2-6	[VPVisor2 / ROM 情報]ダイアログ(表示例)	9
図 2-7	[DLL バージョン情報]ダイアログ(表示例)	9
表 2-1	メニュー一覧	4
表 2-2	ツールバー一覧	5
表 2-3	[startup.bat 設定]設定項目	7

1. 概要

1.1 機能

VP-Ax シリーズには、ファイルシステム機能が実装されております。VPVisor2 はオンボードドライブのファイル管理を行うソフトウェアです。

VPVisor2 には以下の機能があります。

- ファイル管理（参照・作成・削除・コピー・移動・簡易エディタ）
- スタートアップファイルの設定
- システムブートファイルの設定
- オンボードドライブ操作（フォーマット・デフラグ）
- その他（ボードリセット等）

2. 操作方法

2.1 SDK の選択と tool 設定

複数の SDK がインストールされる PC では VPSetReg2 により製品選択を行ってください。

また、VPVisor2 を使用する場合は、VPSetReg2 により VPVisor2 の格納フォルダを設定してください。

VPSetReg2 の詳細は、環境設定マニュアルを参照してください。

2.2 VPVisor2 の起動

VPVisor2 を起動すると[起動中]ダイアログ(図 2-1)が表示されたのち、メインウィンドウが表示されます。LAN 接続された VP-Ax シリーズのボードが見つからない場合、VPVisor2 の起動は失敗します。



図2-1 [起動中]ダイアログ

2.3 メインウィンドウ

[VPVisor2]ウィンドウを図 2-2に示します。レフトビューには LAN 接続された VP-Ax シリーズのボードとそのドライブ・ディレクトリ、および、ホスト PC のドライブ等が表示されます。メインビューにはファイル・ディレクトリが表示されます。メニュー、ツールバー、及び、ドラッグ&ドロップ操作によりファイル管理等を実行できます。

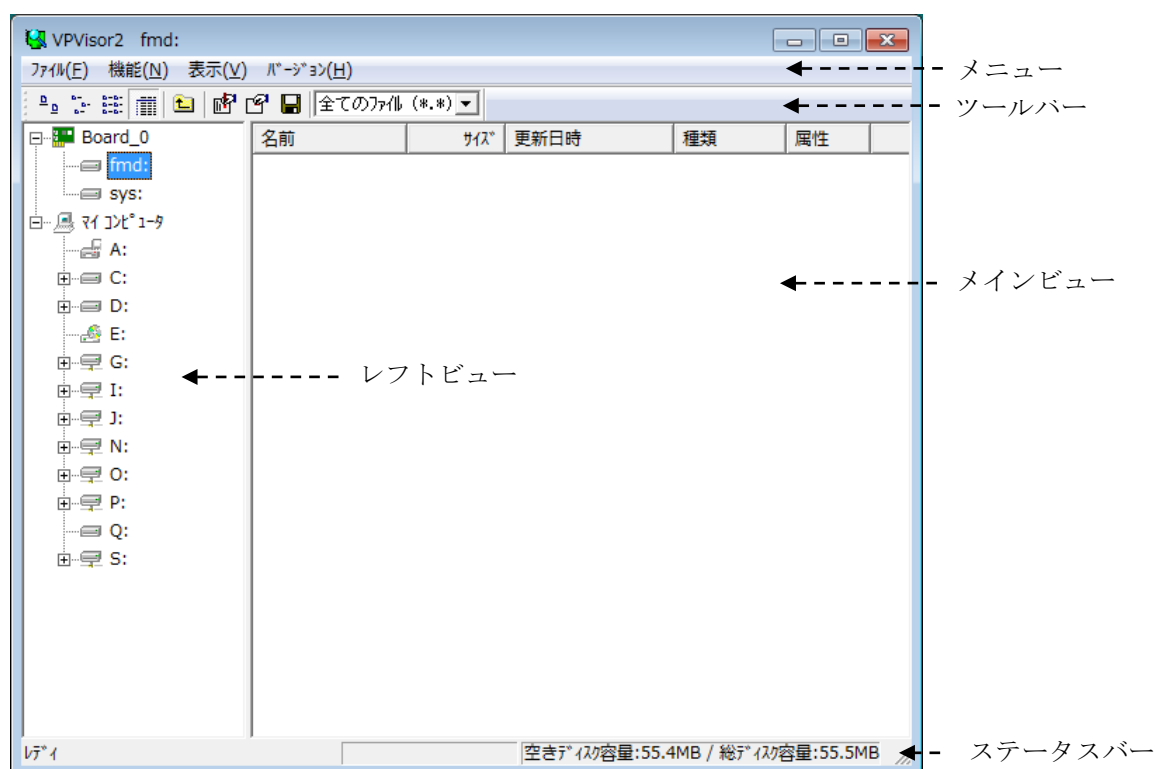


図2-2 [VPVisor2]ウィンドウ

2.4 メニュー

メニュー一覧を表 2-1に示します。

表2-1 メニュー一覧









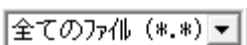
メニュー		説明
[ファイル(F)]	[ファイルの新規作成(N)]	ファイルの新規作成を行います。
	[フォルダの新規作成(M)]	フォルダの新規作成を行います。
	[登録ディレクトリ]	指定した登録ディレクトリをカレントディレクトリとして表示します。登録は[ディレクトリを登録]ツールバーから行い最大 9 件まで可能です。詳細は表 2-2 を参照してください。
	[アプリケーションの終了(X)]	VPVisor2 を終了します。
[機能(N)]	[コピー(C)]	ファイル/ディレクトリをコピーします。
	[貼り付け(V)]	ファイル/ディレクトリを貼り付けします。
	[削除(D)]	ファイル/ディレクトリを削除します。
	[名前の変更]	ファイル/ディレクトリの名前を変更します。
	[属性変更]	ファイル/ディレクトリの属性を変更します。
	[拡張子フィルタ]	コピー/移動対象の拡張子を登録します。詳細は2.6.2章を参照してください。
	[startup.bat 設定]	startup.bat 設定を行います。詳細は2.7章を参照してください。
	[テキストエディタ]	簡易テキストエディタを起動します(対象拡張子は、*.txt *.ini *.bat のみ)。
	[boot.ini 設定]	boot.ini 設定を行います。詳細は2.8章を参照してください。
	[フォーマット]	指定したドライブのフォーマットを行います。(*1)
	[ボードリセット]	指定したボードをリセットします。
	[全ボードリセット]	接続される全ボードをリセットします。
	[ディスクチェック]	指定したドライブのディスクチェックを行います。(*1)
	[ディスク修復]	指定したボードのディスク修復を行います。
	[プロパティ]	指定したファイルのプロパティを表示します(対象拡張子は*.rom *.sys のみ)。
[表示(V)]	[ツールバー(T)]	ツールバーの表示/非表示を選択します。
	[ステータスバー(S)]	ステータスバーの表示/非表示を選択します。
	[最新の情報に更新]	最新の情報に更新します。
[バージョン(H)]	[VPVisor2 バージョン情報(V)]	VPVisor2 バージョン情報を表示します。詳細は2.10.2章を参照してください。
	[DLL バージョン情報(D)]	DLL バージョン情報を表示します。詳細は2.10.2章を参照してください。

(*1) 対象ドライブはオンボードのフラッシュディスクのみです。SD カード、USB メモリ等のメディアや PC 上ドライブ操作は PC で行ってください。

2.5 ツールバー

ツールバー一覧を表 2-2に示します。

表2-2 ツールバー一覧

ツールバー		説明
	大きいアイコン	メインビュー表示形式を大きいアイコンにします。
	小さいアイコン	メインビュー表示形式を小さいアイコンにします。
	一覧	メインビュー表示形式を一覧にします。
	詳細	メインビュー表示形式を詳細にします。
	上へ移動	カレントディレクトリをひとつ上へ移動します。
	ディレクトリを登録	ディレクトリを登録する(レフトビューで選択)。 [ファイル]-[登録ディレクトリ]に表示されます。
	ディレクトリ全削除	登録ディレクトリを全削除します。
	ディレクトリ情報保存	カレントディレクトリの情報をファイル保存します。 VPVisor2.exe 実行ディレクトリ下に“dirInfo.txt” というファイル名で保存されます。
	拡張子フィルタ	メインビュー内容をフィルタリングして表示します。 選択可能な拡張子は、全てのファイル(*.*)、設定ファイル(*.ini)、 VP モジュール(*.abs)、システムファイル(*.sys)、ROM ファイル (*rom)の 5 種類です。

2.6 ファイル管理

2.6.1 ファイル・ディレクトリ操作

メニュー操作やドラッグ&ドロップにより、ファイル・ディレクトリの作成、削除、コピー、移動、名前の変更、属性変更など行うことができます。

PC-ボード間、同一ボード内のドライブ間のコピー、移動は行えますが、別ボード間のコピー、移動は行えません。

2.6.2 拡張子フィルタ設定

拡張子フィルタ設定を利用することにより、コピー、移動の対象外とするファイルの拡張子を設定することができます。

[機能]-[拡張子フィルタ]メニューを選択すると、[拡張子フィルタ設定]ダイアログが表示されます(図 2-3)。選択された拡張子がコピー、移動の対象外となります。



図2-3 [拡張子フィルタ設定]ダイアログ

2.6.3 簡易テキストエディタ

[機能]-[テキストエディタ]メニューを選択すると、簡易テキストエディタが表示されます。拡張子が、*.txt *.ini *.bat のファイルが対象となります。

2.7 startup.bat 設定

スタートアップファイル(startup.bat)を作成すると、システム起動時に startup.bat に記述される shell コマンドやアプリケーションを実行することができます。startup.bat 設定機能を利用することで、スタートアップファイルを簡単に生成することができます。スタートアップファイルの詳細は、利用する SDK のユーザーズマニュアルを参照してください。

[機能]-[startup.bat 設定]メニューを選択すると、[startup.bat 設定]ダイアログが表示されます(図 2-4)。設定項目を表 2-3に示します。設定入力後、[作成]ボタンをクリックすると startup.bat ファイルが生成されます。



図2-4 [startup.bat 設定]ダイアログ

表2-3 [startup.bat 設定]設定項目

設定項目		説明
アプリケーション	ABS ファイル名	ダウンロードモジュールのファイル名 (*.abs) を指定します。
	スタックファイル (KB)	ダウンロードモジュールのスタックサイズを指定します。デフォルトは 64K バイトです。
xTerm 接続	接続	接続有効にすると xTerm 接続を行います。詳細は使用するツールのマニュアルを参照してください。
	IP アドレス	xTerm を実行する PC の IP アドレスを指定します。
	チャネル	xTerm のチャネル番号を指定します。デフォルトは 1 です。
	ポート	ポート番号を指定します。デフォルトは 30022 です。
RAM Disk	生成	生成有効にすると RAM Disk 生成を行います。ドライブ名は "ram" となります(固定)。RAM Disk の詳細はシェルコマンドリファレンスを参照してください。
	容量 (KB)	RAM Disk 容量 (KB) を指定します。デフォルトは 1024 バイトです。

2.8 boot.ini 設定

boot.ini ファイルを作成することで、IP アドレスなどのシステムパラメータを変更して起動することができます。

[機能]-[boot.ini 設定]メニューを選択すると、[boot.ini 設定]ダイアログが表示されます(図2-5)。
[boot.ini 設定]ダイアログは VPSetup2 と同等機能になります。本機能の詳細は環境設定マニュアルを参照してください。

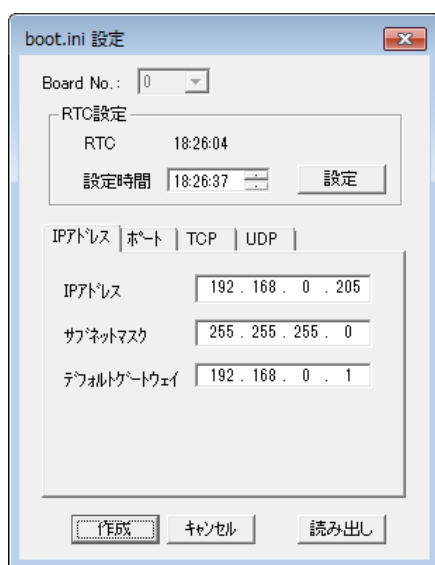


図2-5 [boot.ini 設定]ダイアログ

2.9 オンボードドライブ操作

オンボードドライブ操作として、ドライブのフォーマット、ディスクチェックとデフラグ等を行うことができます。必要に応じてメニューから実行してください。

対象ドライブはオンボードのフラッシュディスクのみです。SD カード、USB メモリ等のメディアや PC 上ドライブ操作は PC で行ってください。

2.10 その他

2.10.1 ボードリセット

[機能]-[ボードリセット]メニューを選択すると、指定ボードをリセットすることができます。また、[機能]-[全ボードリセット]メニューを選択すると、接続される全てのボードをリセットすることができます。

2.10.2 バージョン情報

[バージョン]-[VPVisor2 バージョン情報]を選択すると、[VPVisor2 / ROM 情報]ダイアログが表示されます(図 2-6)。VPVisor2 のバージョン、SDK バージョン、および、VP-Ax シリーズのボード情報を確認することができます。

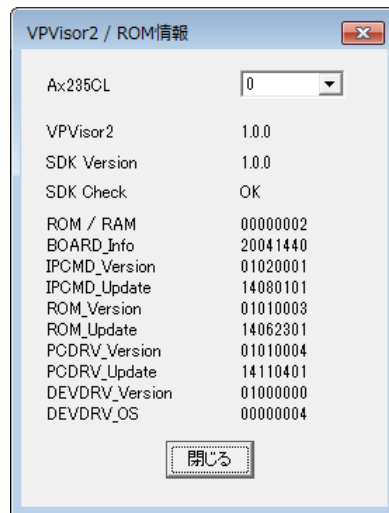


図2-6 [VPVisor2 / ROM 情報]ダイアログ(表示例)

[バージョン]-[DLL バージョン情報]を選択すると、[DLL バージョン情報]ダイアログが表示されます(図 2-7)。DLL バージョン情報を確認することができます。



図2-7 [DLL バージョン情報]ダイアログ(表示例)

付録A 変更履歴

【第1版】
初版

【第2版】
社名を変更しました。

画像認識ユニット NVP-A x 2 3 0 SDK
SVP-A x 3 3 0 SDK
VPVisor2 操作マニュアル (第2版)

(C) マクセルシステムテック株式会社

開発元

マクセルシステムテック株式会社

設計部 〒992-0021 山形県米沢市花沢 3091-6

営業部 〒244-0801 神奈川県横浜市戸塚区信濃町 549-2 三宅ビル

技術サポート窓口 URL <http://www.systemtech.maxell.co.jp/>
mail : vp-support@maxell.co.jp